

②⑦ **目指せ 全社大会優勝**

「旭化成ラグビー部」



◁マイボールからオープン 攻撃練習

私たち旭化成ラグビー部の創部は昭和36年。歴史と伝統を誇りますが、近年はやや低迷状態が続いてきました。しかし、最近若手を中心に、練習にも活気が戻ってきています。

部員は現在19名。一見ヤクザと思える人相とは裏腹に、素顔は旭化成を支える、エリート技術屋集団です。そのため仕事も忙しく、定時退社後の練習に、なかなか全員顔を合わせることができないのが悩みです。

部の最大の目標は、年1回行われる旭化成グループ全社大会の優勝で、ことしは4月に延岡であります。また、県東部リーグに所属していますが、秋の県選手権は、1回戦敗退が続いているので、ことしはぜひ1勝しようと、皆燃えています。

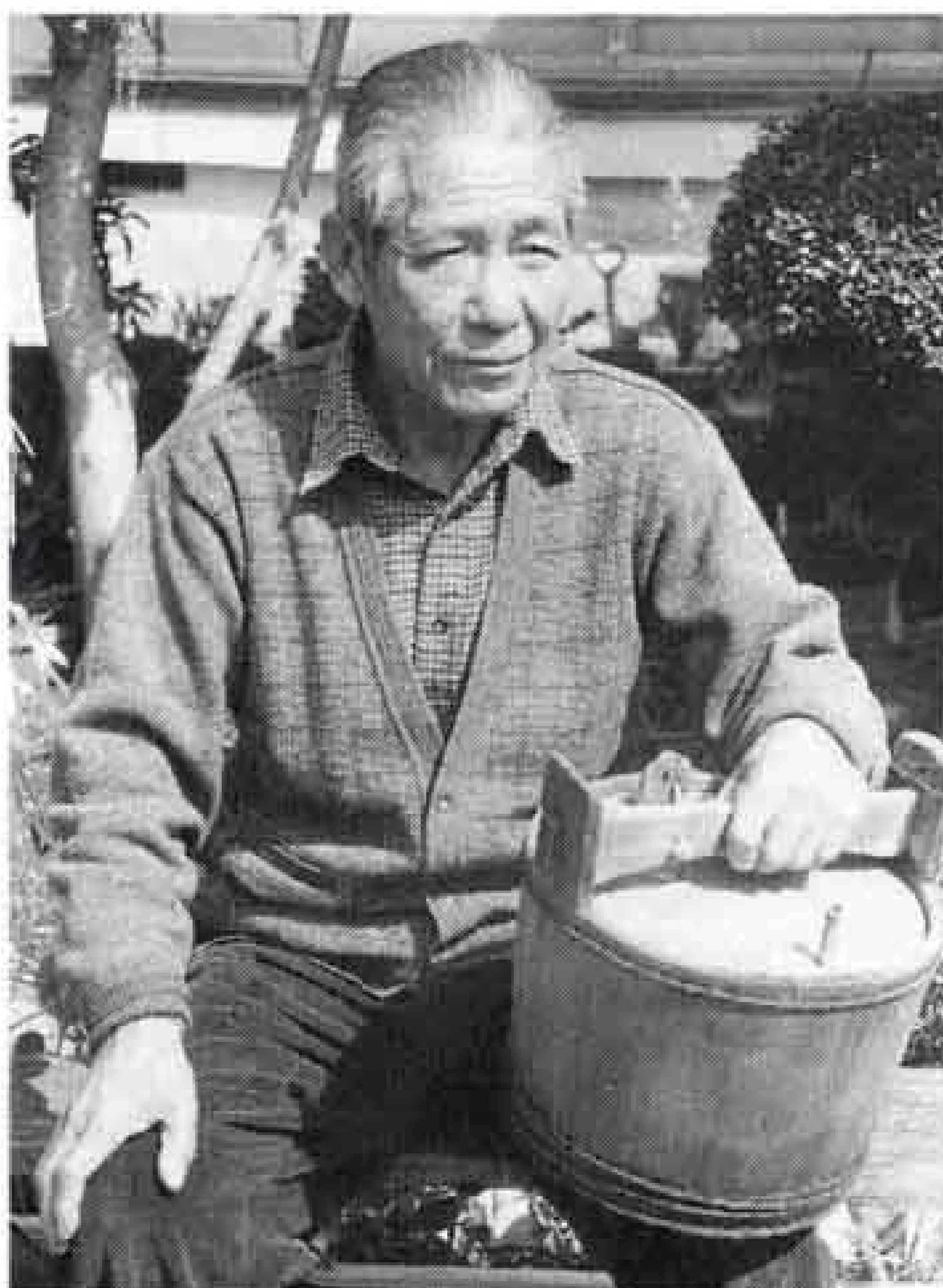
問い合わせ 旭化成(株)富士 林 ☎62-2311

個性派の 道具たち

⑪

チャヤナ

伝法二丁目の芹沢寿夫さんが、市立博物館へ「チャヤナ」を寄贈してくださいました。



「チャヤナって、どう書くのかねえ。昔っからそう呼んでたんでー」と、芹沢さんふたを閉めたおひつに、飲み口がついたようなもので、水が三リットルは十分に入ります。

「なにしろ、野良で飲む一日分だからそれくらいはないとね。昔は、十時にはお昼を食べ、二時には「ゆうじゃ」。これで、手も洗ったりさ。担ぎ俵の中に、肥料やぐわと一緒にチャヤナも入れて、てんびん棒で担いで行ったよ。」

チャヤナは、サワラの木でつくられ、直径は二十八センチ、高さは二十センチあります。水を入れるところには、キリの木の「ポッチョ」。飲み口は、竹です。

「昭和十七年ころかなあ。今はもうやめている宮川町のおけ屋でつくってもらったもの。大きさは、家族の人数でも違ったね。その当時、水道は引かれてなかったから、共同井戸まで水をくみに行ったよ。水は、貴重品だったね」。のんびりとした田園には、水筒よりもチャヤナの方が、似つかわしい呼び名かもしれません。

芹沢寿夫さん (伝法二)



△東名須津バス停を清掃

③ 小さな親切運動

僕たち、須津中学校では、生徒会本部と小さな親切委員会を中心となって、「小さな親切運動」を推進しています。各クラスごとに、活動内容を「善行宣言」として決めますが、いろいろな意見を親切委員会が調整します。ことしは、須津中入口バス停や須津川下流の清掃など、十七の善行宣言が出そろい、クラスの一人一人が、小さな親切精神を胸に、一生懸命取り組んでいます。また夏休みには、先生や父兄の皆さんと一緒に、須津川と春山川のクリーン大作戦

に、一生懸命取り組んでいます。また夏休みには、先生や父兄の皆さんと一緒に、須津川と春山川のクリーン大作戦



△生徒会の皆さん

須津中学校生徒会活動

力を合

わせて

に取り組みました。このときは、林の奥などにゴミが多く、大変苦労しました。小さな親切運動は、二十七年の歴史があります。一昨年にはこの実績が認められ、東京にある小さな親切本部で、全国でただ一校、須津中が表彰されました。

僕たちは、伝統を守りながら、新たな目標にもチャレンジしていきます。

こちら編集室

車から自転車通勤にかえて、はや一カ月。風の冷たさ温かさを感じ、桜や桃の、つぼみから開花までの変化に目をとめ、畑の土や野菜の香りに気づくなど、今、五感いっぱい春を感じています。田植えの始まる田んぼでは、もうすぐカエルの合唱が聞かれます。